

氏名	江良 裕子	部署	口腔保健科学専攻	職名	助教
研究分野	歯科理工学、口腔保健学				
学位	博士（歯学）				
学歴	1992年北海道立衛生学院 歯科衛生学科、2008年放送大学教養学部 生活と福祉専攻 2020年北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野・講座 生体材料工学教室（博士課程）				
経歴	1992年～2004年 歯科診療所勤務 歯科衛生士、2004年～2006年居宅介護支援事業所勤務 ケアマネージャー 2006年～2018年 北海道歯科衛生士専門学校勤務 教務主任、2018年 埼玉県立大学保健医療福祉学部 助教				
所属学会（役職）	歯科衛生教育学会、歯科衛生学会、歯科理工学会、SPU学会（事務局会計）、北海道歯学会 代用臓器・再生医学研究会、日本管楽芸術学会				

【2023年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	A novel thermoresponsive hydrogel composite controlled by infrared irradiation	共著	あり	○ Molecular Crystals and Liquid Crystals ; 763(1) ; P.73-79	Shigeaki Abe, Mahdis Nesabi, Sirius Safaee, Eri Seitoku, Yuya Yato, Atsushi Hyono, <u>Yuko Era</u> , Ko Nakanishi, Mariko Nakamura, Teruo Kusaka, Alireza Valanezhad, Tomoya Takada & Ikuya Watanabe	2023.4
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	表面化学修飾による選択的薬剤徐放キャリアの開発	共同	第 81 回日本歯科理工学会 学術講演会、東京都	○阿部薫明、 <u>江良裕子</u> 、バラネザハド アリレザ、渡邊郁哉	2023.4	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	抗炎症薬と殺菌薬とを徐放するナノ多孔質シリカ含有新規ハイブリッド歯科用軟膏の創製	研究代表者	2020.4～2025.3		
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	低侵襲外部刺激により薬剤徐放を行うインテリジェントマトリックスの創製	研究分担者	2021.4～2024.3		
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	該当なし					

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	矯正歯科学		15	学内担当として、非常勤講師の講義や試験の準備を行った。
2	歯科材料学		15	学内担当として、授業の準備やサポートを行い、授業がスムーズに進むよう努めた。
3	歯周病予防処置論Ⅰ		1	顎模型を用いて、エキスポローラー、シッケルスケーラー、プローブ、キュレットスケーリングの操作方法について確認した。
4	歯周病予防処置論Ⅱ		14	顎模型上にてスケーリングのデモンストレーションを行い、テクニックが習得できるよう一人ひとりに指導した。
5	齲蝕予防処置論		12	顎模型を用いてフッ化物塗布の様々な方法、シーラント処置について実習を行った。

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	ヒューマンケア体験実習 (代替授業)		18	多職種連携の導入として、初めて対面した学生同士が活発に意見交換できるようサポートを行った。
2	歯周病予防処置法Ⅲ		4	超音波スケーリング相互実習を安全、円滑に実施できるようサポートした。
3	チーム歯科医療学Ⅰ	○	22	歯科臨床の場で求められる基本的な歯科診療の補助の知識、技術、態度を身につけられるよう、講義・実習を行った。
4	チーム歯科医療学Ⅱ		2	臨床実習が始まる前の実践的な実習のため、学生達に根拠を考えてもらうよう工夫した。
5	臨地・臨床実習Ⅰ		2023.10~2024.3	実習オリエンテーション、カンファレンスを行った。
6	臨地・臨床実習Ⅱ		2023.4~2023.8	実習オリエンテーション、カンファレンス、インシデントの対応を行った。
7	臨地・臨床実習Ⅲ		2023.4~2023.8	実習オリエンテーション、カンファレンス、インシデントの対応を行った。

(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2023.1~2023.12	主指導	1名 副指導 名

(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	該当なし			

#### 4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	2023年度長崎大学市民公開講座	長崎大学	医療と健康に貢献する化学	2023年12月

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	SPU学会	会計委員		2023.4~2025.3

(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			

(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	該当なし		
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		